

矢に込められた願い

夜須八幡宮「百手祭」

1月16日・17日の2日間、夜須町西山の夜須八幡宮で県内の三大弓行事といわれる「百手祭」が行われました。この行事は、12人の射手が約28m離れた大的・ダイダイ的・草紙的・小的という4種類の的めがけて、五穀豊穡・無病息災の願いを込めた矢を放ち奉納するものです。今年2日間で奉納された矢は、1816本。

射手である氏子たちは「姿勢を正し無の心で射ることが肝心。伝統を絶やさないよう続けていきたい」と語っていました。



香南の平野で羽根休め

ナベヅル5羽 飛来

年末から新年に向け、野市町中ノ村から香我美町徳王子の農地にナベヅルが5羽飛来しました。

ナベヅルはシベリア南東部や中国北東部で繁殖し、冬に日本にやってくる渡り鳥で、全体的に灰黒色で首から上は白く、頭は赤い皮膚が露出しているのが特徴です。警戒心がとても強く、少しの音に反応し、すぐに飛び去ってしまいます。昨年、吉川町錦地区にナベヅルとタンチョウヅルが飛来したことがあり、今年も市内で越冬する姿が見られるかもしれません。



「どんどん！」と竹はじける

どんと焼き



1月14日(月)香我美町西川の西川公民館広場で2回目を迎える「西川どんと焼き」が行われました。

正月に飾った門松や注連飾りを焼く、季節の行事で、お札や正月飾りの処分に困った住民らの「どこかで焼いてほしい」という要望から始まりました。地区内外から、正月飾りなどを持ち寄った約40人は、火の中でどんどんと竹がはじける音に歓声をあげていました。

香我美町岸本でも20日に行われ、地域独特の風物詩を楽しんでいました。

がんばれ中小企業!!

地域資源活用プログラム説明会 & 事例発表会



1月17日(木)のいちふれあいセンターで「地域資源活用プログラム説明会 & 事例発表会」が開催されました。㈱小田急百貨店マーチャンダイザーの山本聖氏を講師に、生産者と消費者を地域ブランドでつなぐ活性化戦略事例の発表があり、市内外の中小企業者ら約80人が参加しました。国は、この制度を活用した新商品の開発や創意ある取り組みなど、中小企業の特徴ある独自の戦略を応援しています。参加者は熱心に、制度の説明などに耳を傾けていました。

手作り土佐凧！もっと揚がれ

三世代交流凧揚げ大会

1月6日(日)三世代交流新正凧揚げ大会」が野市ふれあい広場で開催されました。世代間の交流を深めることを目的としたこの大会は、野市地区青少年育成会議や野市土佐凧保存同好会、高齢者クラブとの協力で実施。景品がもらえる券が、空高く揚がった凧から降ってくるトバシの争奪戦には約700人が参加しにぎわいました。また、手作り凧審査会では微風の中、夢中になって何度も凧揚げに挑戦。凧の揚げり方など優れた作品が部門別に12点表彰されました。



決意を新たに行進

香南市消防出初め式



1月6日(日)野市中学校グラウンドで消防団員・女性防火クラブ・赤岡町少年防災クラブなど約260人による消防出初め式が開催されました。参加者は喇叭班による勇壮な演奏のもと力強く行進。続いて、服装・車両機械器具点検が行われ、今後予想される災害などに対して住民の期待に応え地域の守りの要としての決意を新たにしました。また、消防関係者の表彰や火災において初期消火・延焼防止に功績のあった3人と1団体に感謝状が贈られました。



みかんの里でみんなにっこり

香我美町文化祭 & 第2回香南ふれあい祭り

1月12日・13日の両日、香我美市民館周辺で「香我美町文化祭」が開催されました。文化サークルや学校の作品展示、バザーなどにたくさん住民が集まりました。

科学実験教室では、子どもたちが道具を使って静電気をためたり、磁石の不思議さを体験したり、楽しみながら学習していました。

13日(日)には「第2回香南ふれあい祭り」が同会場で行われ、約3,000人が来場。みかんもちの入った大鍋ぜんざいで体を温めた後、品評会に並んだ農産物を品定めしたり、それぞれにイベントを楽しんでいました。

高知県警トライアル隊のアクロバット走行ではバイクで斜面を駆け上ったり車に飛び乗ったり、観客をハラハラさせ、会場を沸かせました。



みかんもちぜんざい